

登録コード	T2A09300	開講年度	2026			
授業科目	電気電子実験 (16T以降)				担当教員	LEE S00BEOM
英文授業名	Experiment of Electrical and Electronics 2				副担当	LIU XIAOXI・山本 明旦定・佐藤 光秀・田代 晋久
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限 水曜・4時限 水曜・5時限	対象学生
講義室	工W5-23教室		授業形態	実験	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
	2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ					
	【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。			電気電子工学の基礎を理解し、様々な計測機器の取り扱いができるようになる。		
	【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。			実験結果を考察し、適切な報告書にまとめて、プレゼンテーションなどにより、他の人に発信できるようになる。		
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。			理論予測値と実験結果を比較・考察することにより、問題点を特定し、論理的な解決手段の検討ができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本科目では、10テーマで構成されており、それらは電気電子実験Ⅰの発展的な内容になっている。3年生前期までに学習した「電気回路」、「電子回路」、「電理工学」、「電気機器」などあらゆる科目の実践的活用の場にもなっており、また小型誘導電動機を用いた実験や回路解析など多岐に及び、総復習のつもりで取り組んでほしい。 また、最後の週に各グループに分かれてプレゼンテーションを行ない、社会で必要とされているプレゼンテーション能力も養ってもらおう。 詳細は第1週のガイダンスで説明する。					
(5)授業計画	第1週：ガイダンス 第2週～第11週：各グループに分かれ1テーマ/週で下記の10テーマの実験を行う 第12週：フォローアップ、プレゼンテーション説明(授業アンケートを実施する) 第13週：プレゼンテーション準備・実験指導日 第14週：プレゼンテーション練習 第15週：プレゼンテーション 実施実験テーマ A1:電源回路 A2:変圧器 B1:モータⅠ B2:モータ C1:パワーエレクトロニクスⅠ C2:パワーエレクトロニクス D1:アナログ電子回路Ⅰ D2:アナログ電子回路 E1:磁性体 E2:誘電体 詳細は第1週のガイダンスで説明する。					
(6)成績評価の方法	各実験で提出するレポートとプレゼンテーションの内容で評価する。 詳細は第1週のガイダンスで説明する。					
(7)成績評価の基準	各実験項目についてのレポートから、実験の理解度を測る。また、適切なレポート作成能力を測る。採点基準は各項目の担当教員から説明がある。					
(8)事前事後学習の内容	各実験(10項目)毎に、事前学習課題およびレポートの提出が求められる。 詳細は第1週のガイダンスで説明する					
(9)履修上の注意	詳細は第1週のガイダンスで説明する					
(10)質問,相談への対応	詳細は第1週のガイダンスで説明する					
(11)その他	講義室：W2棟302実験室, W6棟101実験室, W1棟513室となっているが、その他も使用する場合がある。 詳細は第1週のガイダンスで説明する。					
【教科書】	詳細は第1週のガイダンスで説明する					
【参考書】	詳細は第1週のガイダンスで説明する					